

2026 SPRING



おすすめの絵本



燕市の図書館から赤ちゃんとおうちのかたへ
おすすめの絵本をご案内いたします



本の検索や予約
図書館ホームページ



イベント情報
X (旧Twitter)

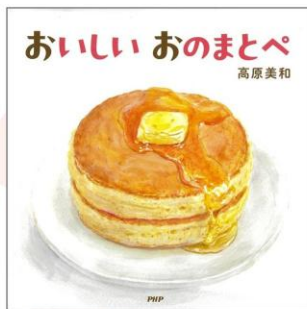


電子書籍
電子図書館



赤ちゃんにおすすめ絵本
燕市ホームページ

0さい～2さい向け



『おいしい おのまとべ』

高原 美和〓作、絵 PHP 研究所

リアルな質感で描かれたおいしいおやつと、「おいしいおと」がいっぱいの絵本です。オノマトペはすべて手描きの文字で表現されており、さらに想像がふくらみます。みんな大好きなあのおやつからは、どんな音がするだろう？「おいしいおと」に触れれば触れるほど、もっとおいしくおやつを味わえそうです。



『どんないろがすき』

100% ORANGE〓絵 フレーベル館

おなじみの童謡を絵本で楽しむことができます。歌いながらページをめくれば、読み手も聞き手もにこにこ笑顔に。それぞれの色から連想されるものがたくさん描かれているので、「色」を知る第一歩にもなりそう。最後に「全部」で描かれたカラフルな世界は、見ただけで心をパッと明るく照らしてくれます。



『おさじさん』

松谷 みよ子〓文 東光寺 啓〓え 童心社

「おさじさん」は、赤い柄のかわいいスプーン。おいしいものをお口に運んでくれます。心地よいリズムと優しいストーリーは、読み聞かせにぴったり。離乳食期のお子さんと絵本を楽しめば、食や食を支えてくれる大切なパートナーであるスプーンを知り、仲良くなるきっかけにもなりそうですね。

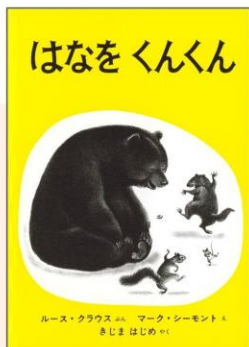
3さい～5さい向け



『はじめて』

近藤 薫美子//作、絵 偕成社

春を彩る桜の木。たくさんの虫や鳥が集まり、「はじめて」と挨拶を交わしています。花が散ってしまっても終わりではありません。桜の木は四季の移り変わりとともに、新しい出会いを重ねているのです。この絵本の中にある、たくさんの「はじめて」は、私たちに自然の営みを教えてくれます。



『はなをくんくん』

ルース・クラウス//ぶん マーク・シーメント//えきじま はじめ//やく 福音館書店

冬眠中の森の動物たちが目を覚まし、はなをくんくんさせながら、みんな一斉に駆けていきます。動物たちが向かう先には、いったい何が待っているのかな？ページをめくりながら、まるで私たちまで森を駆けているような気持ちになり、わくわくします。小さな春の訪れを、体いっぱいを感じられる絵本です。



『かみなのに』

たにうち つねお//さく 大日本図書

紙なのにはねる！のびる！それってどういうこと？切ったり折ったり、少し手を加えるだけでこんなことができるなんて…！驚きと発見がいっぱいです。読んだあとは、実際にやってみたくなること間違いなし。絵がすべて紙を使って表現されていることも相まって、紙の無限の可能性を感じます。

おうちのかた向け

うたをうたうとき



① まど・みちお ② わたなべよしえ | ananama.co

『うたをうたうとき』

まど みちお//し わたなべ よしえ//え

アノニマ・スタジオ

詩とモザイクアートが織りなす、あたたかな世界が広がる詩画集。少し疲れてしまった日も、優しい詩を声に出して読み、色彩豊かな絵をみつめるだけで自然と心が落ち着くような気がします。山口県にある病院の「ホスピタルアート」が元になったこの本。さまざまな祈りや願いがこめられた、素敵な一冊です。

ちょっとだけ



瀧村有子 // 鈴木永子

『ちょっとだけ』

瀧村 有子//さく 鈴木 永子//え

福音館書店

お姉さんになったばかりのなっちゃん。赤ちゃんの世話をするママを困らせないように…。甘えたい気持ちをおさえ何でも自分でやろうと頑張る姿に、胸がぎゅっとしめつけられます。親が子を愛する気持ちはもちろん、子が親を大切に思っている優しい気持ちを感じ、読むたび涙が止まりません。

ずーっと ずっと
だいすきだよ

ハンス・ウィルヘルム // えとぶん
久山 太市 // やく



評論社

『ずーっとずっとだいすきだよ』

ハンス・ウィルヘルム//えとぶん 久山 太市//やく

評論社

いつも一緒にいてくれる友達であり、支えてくれる家族でもあるペット。その命は短く、過ごせる時間はあっという間に過ぎてしまうものです。だからこそ大切なのは、日々愛を言葉にして、一緒に過ごす時間とともに重ねていくことなのかもしれません。あらゆる「大切な存在」を思い浮かべながら読みたい絵本。